

③学習課題（中学校2年生）

【数学】

<内容>

連立方程式を解く方法を考えよう④

～ $A=B=C$ の形の連立方程式の解き方を考えてみよう～

<取り組み方>

- ① $2x + 3y = x + y = 2$ から、3通りの2元1次方程式をつくってみよう。
- ② $2x + 3y = x + y = 2$ から、今まで解いてきたような形の連立方程式を3つつくってみよう。
- ③ ②でつくった3つの連立方程式を解いて、解を比べてみよう。気が付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ④ 教科書 P53 の問 12 を解いてみよう。

今回の課題で連立方程式の計算問題は終わりです。

教科書 P56 の計算力を高めよう 2 に取り組み、計算練習をしましょう。

<学習のヒント>

- ① $A=B=C$ の形の式は、 A と B と C が全て等しいことを表しているよ。このことから、3通り（ $A=B$ 、 $B=C$ 、 $A=C$ ）の2元1次方程式をつくることができるね。
- ② 教科書 P53 の例 7 の㉗～㉙を参考につくってみよう。①で考えた3通りの2元1次方程式を組み合わせると、3通りの連立方程式ができるね。
- ③ ②でつくった3つの連立方程式を、自分の解きやすい方法（加減法や代入法）で解いてみよう。
- ④ 教科書 P53 の例 7 の㉗～㉙の中で、どの組み合わせが解きやすいか考えて解いてみよう。